



東山代小学校便り

※学校ホームページ



※写真等パスワード

higashi07

2025. 10. 3

文責：中尾

◆「人にやさしく、まじめにがんばる子」

◆「いのち」の授業（ふれあい道徳：9/10）

9月10日（水）に授業参観を行ったところ、多くの保護者の方々に参観いただきありがとうございました。今回は、「ふれあい道徳」ということで、全クラスで道徳の授業を公開したところです。今年は、道徳担当から、全クラス「いのち」について考える授業を公開してほしいという提案がありました。それぞれの担任は、夕方遅くまで授業の準備を進めていました。

あるクラスでは、保護者にわが子の誕生や「いのち」にかかわる手紙を事前に書いてもらい、授業の最後の場面で読ませていました。担任から一人一人に手紙を手渡す場面では、担任も大切そうに手渡し、その手紙を大切そうに受け取る子どもの姿が見られました。封を開け、読み始める子どもの表情は様々でした。うれしくて自然と笑みがこぼれる子、自分の「いのち」に対する思いにふれ涙ぐむ子と様々でした。この時間は、子どもたちにとっても、保護者のみなさんにとっても、お互いのあたたかい絆を確認できた時間になったことと思います。

また、あるクラスでは国見中学校にかかわる「いのち」の授業が行われていました。保護者の中には同級生の方もいらっしゃったようで、当時を振り返りながら、あらためて「友だち」や「いのち」の尊さに思いを馳せられたことと思います。

また、とても嬉しかったのは、その授業を子どもたちと一緒に受けていただいているような保護者の方々の姿でした。子どもたちが真剣に学んでいる姿やその学びのために懸命に準備してきた担任の思いがそうさせたのかもしれませんが。

「廊下での私語は控えてください！」という張り紙をしている学校もあると聞きます。

本校には必要ないようです。

◆慢性的な寝不足が与える影響は深刻…

厚生労働省の指針によると、子どもの理想的な睡眠時間は、小学生は9～12時間、中学・高校生は8～10時間だそうです。過去30年間の調査によると、起床時刻はほとんど変わらない一方で、就寝時刻が遅くなったことが、子どもの平均睡眠時間の短縮につながったと考えられています。また、テレビやゲーム、スマートフォン等の情報機器にふれる機会が多い子どもほど就寝時刻が遅くなっているという結果が出ています。その影響は、身体の成長の抑制、集中力・記憶力の低下、情緒の不安定化（イライラする等）、学業成績の低下など多岐にわたります。

睡眠時間に大きな影響を与える「テレビやゲーム、スマートフォン等の情報機器にふれる時間」については、今一度立ち止まって考える必要があるようです。

◆個人情報…

教師による盗撮事件…。

非常にショッキングな事件でした。一部の教師の不祥事が、朝早くから遅くまで、「子どもたちのために！」という思いで真面目に努力している教師までもそうであるかのようなイメージを与えているのも事実だと思います。

伊万里市では、保護者の信頼を確かなものにするために、次のようなルールを設けました。

1 私用のモバイル端末（スマートフォン、タブレット等）による児童生徒の撮影は禁止する。

本校では、学校用のデジタルカメラを複数台購入し、私用のモバイル端末に児童の写真などのデータを保存しないようにしました。

2 私用のモバイル端末（スマートフォン等）の教室への持ち込みは禁止

本校の場合、昨年度までの旧校舎にはインターホンの設備がなく、緊急の連絡ができませんでした。しかし、校舎が新築されたことにより職員室と教室がインターホンでつながっていますのでスマートフォンの教室への持ち込みはしないようにしました。ただし、校外での教育活動（修学旅行や遠足等）については、児童の事故などの緊急対応に備え、携帯する場合があります。

これ以外に、個人情報で心配されるのは、保護者が学校行事や授業参観等で撮影したものを、撮影された児童や保護者の許可なくSNSに掲載されるケースです。このことが原因で保護者間の大きなトラブルに発展したケースもあります。ご注意ください。

◆ほほえましい子どもの姿⑤

掃除の時間は、できるだけ児童と一緒に掃除をするように心がけています。校長室前から児童玄関にかけて掃除をしていますが、6年生の姿には感心させられます。無言で、床に膝をつき雑巾で拭き上げる姿は、まさに全校の模範となっています。新校舎と共に新しい伝統のスタートとなればと願っているところです。

一方、これは「ほほえましい」という言葉は適していないかもしれません。しかし、この児童の思いはしっかり受け止めたいと思いました。

毎朝、私は校門に、H先生は踏切付近に立ち、子どもたちを迎えています。

ある朝の出来事です。一段落ついて、コミュニティセンターの方へ歩いていくと、「校長先生、あれはいかんちゃんい！」という話す児童がいました。顔を上げて見ると、コミュニティセンターの駐車場に複数の車が停まっており、そこから児童が降りてきていました。病気やけがだろうと思いましたが、そうではないようです。「コミセンの駐車場での乗り降りは…。」「元気なら歩いて…。」と言いたかったようです。この児童は、時には送ってほしいけど、がんばって歩いて登校しているのだろうと思いました。また、「ルールは守るべきだ！」と言いたかったのだろうと思いました。だからこそ、何とも言えない思いがあふれたのだろうと思います。